

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果の概要 【狹山市立小学校・中学校】

全国学力・学習状況調査は、全国の小中学校を対象にした調査であり、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」（平成25年11月29日 文部科学省実施要領より）ことを目的に実施しているものです。

狹山市教育委員会では、本調査の結果を踏まえ、教育施策等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導のより一層の充実に努めてまいります。さらに調査結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、本市の児童生徒の学力と学習状況の現状や向上策についてご理解をいただき、今後も引き続き、学校教育に対するご支援とご協力をお願いするものです。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

1 調査の概要

- ・実施日 平成31年4月18日（木）
- ・調査対象 小学校第6学年 15校（対象児童数 1,136人）
中学校第3学年 8校（対象生徒数 1,124人）
- ・調査事項（1）児童生徒に対する調査
 - ①教科に関する調査
 - 小学6年生・・・国語、算数
 - 中学3年生・・・国語、数学、英語
 - ②質問紙調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査
- （2）学校に対する質問紙調査…学校における指導方法に関する取組等に関する質問紙による調査

2 全国・埼玉県・狭山市の平均正答率（教科に関する調査の結果）

（単位％）

（1）小学校第6学年

【教科ごとの区分】

教科	狭山市	埼玉県	全国
国語	59.0	64.0	63.8
算数	64.0	66.0	66.6

【学習指導要領の領域等での区分】

国語	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	66.4	71.6	72.3
書くこと	48.7	52.9	54.5
読むこと	77.4	81.1	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	50.8	57.1	53.5

算数	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	61.6	62.5	63.2
量と測定	49.1	51.7	52.9
図形	73.5	75.4	76.7
数量関係	67.2	68.3	68.3

(2) 中学校第3学年

【教科ごとの区分】

教科	狭山市	埼玉県	全国
国語	71.0	73.0	72.8
数学	58.0	59.0	59.8
英語	56.0	56.0	56.0

【学習指導要領の領域等での区分】

国語	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	66.0	69.6	70.2
書くこと	81.0	83.0	82.6
読むこと	71.4	72.3	72.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.0	67.0	67.7

数学	狭山市	埼玉県	全国
数と式	60.7	62.4	63.8
図形	71.6	72.0	72.4
関数	38.6	39.3	40.8
資料の活用	55.5	56.3	56.3

英語	狭山市	埼玉県	全国
聞くこと	69.8	68.9	67.9
読むこと	56.1	56.0	55.6
書くこと	44.8	45.9	45.8

3 質問紙調査の結果

(1) 狭山市の児童生徒に対する質問紙調査の結果

※質問事項は、小学校58項目、中学校68項目あり、この中から抜粋しています。

※「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)を示しています。

【教科について】

質問事項	小学校			中学校		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
国語の勉強は好きですか	61.0	64.3	64.2	66.7	61.4	61.7
国語の授業内容はよく分かりますか	83.8	84.9	84.9	79.4	77.6	77.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	79.3	81.8	78.1	84.0	84.2	77.4
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	72.7	73.9	71.4	76.5	75.7	93.0
算数(数学)の勉強は好きですか	72.6	68.8	68.6	53.5	58.3	57.9
算数(数学)の授業内容はよく分かりますか	86.0	83.8	83.5	66.8	74.1	73.9
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	84.7	83.3	82.0			
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	86.7	84.7	82.1			
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか	85.2	85.4	84.0			
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.9	87.9	87.0			
英語の勉強は好きですか				62.2	57.6	56.0
英語の授業はよく分かりますか				69.5	68.2	66.0

【生活や自分のことなどについて】

質問事項	小学校			中学校		
	狹山市	埼玉県	全国	狹山市	埼玉県	全国
朝食を毎日食べていますか	96.7	96.1	95.3	94.4	93.6	93.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	85.9	84.6	81.4	83.0	80.0	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.6	92.7	91.6	92.7	92.7	92.8
自分には、よいところがあると思いますか	83.1	82.1	81.2	77.5	76.4	74.1
将来の夢や目標を持っていますか	85.6	85.1	83.8	70.0	73.3	70.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.1	94.7	95.2	93.8	94.2	94.3
家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしていますか	80.3	81.1	77.4	80.5	79.2	76.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.8	67.3	68.0	50.9	48.8	71.6
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	52.8	56.4	54.5	37.0	41.6	39.4
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.2	87.0	86.3	82.4	82.4	81.9

(2) 狭山市の学校に対する質問紙調査の結果

※質問事項は、小学校58項目、中学校66項目あり、この中から抜粋しています。

※「よく行っている（行った）」の割合（％）を示しています。

質問事項	小学校			中学校		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをあたえましたか	46.7	56.4	50.4	25.0	43.5	45.9
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	80.0	67.3	57.8	62.5	74.9	63.8
調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科、道徳（道徳の時間）において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	60.0	55.6	40.2	50.0	45.4	38.6
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	33.3	33.1	22.2	12.5	25.8	20.8
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会をもうけましたか	33.3	28.7	18.1	12.5	18.0	14.5
前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	33.3	28.9	22.8	25.0	31.4	26.1

5 考察

【教科調査】

〈小学校〉

- ・全ての教科において、平均正答率は全国及び県よりやや下回っている。
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」の領域が、全国との差が5.9ポイント、県との差が5.2ポイントあった。授業の中で、話合いの活動場を多く取り入れ、話す力、聞く力を身に付けさせることが必要である。
- ・算数では、「量と測定」の領域が、全国との差が3.8ポイント、県との差が2.6ポイントあった。量の大きさについての感覚を豊かにするために、作業的・体験的

な算数的活動を日頃から行うことが必要である。

〈中学校〉

- ・国語と数学においては、平均正答率は全国及び県よりやや下回っている。英語は、全国及び県の結果と同等であった。
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」の領域が、全国との差が4.2ポイント、県との差が3.6ポイントあった。小学校と同様に、授業の中で、話し合いの場を多く取り入れ、話す力、聞く力を身に付けさせることが必要である。
- ・数学では、「数と式」の領域が、全国との差が3.1ポイント、県との差が1.7ポイントあった。基礎的・基本的事項について、生徒一人一人の定着していない学習内容については、確実に定着させる必要がある。
- ・英語では、「聞くこと」の領域が、全国より1.9ポイント、県より0.9ポイント上回っている。「読むこと」の領域においても、全国より0.5ポイント、県より0.1ポイント上回っている。「書くこと」の領域では、全国との差が1ポイント、県との差が1.1ポイントあった。英単語や英文についての基礎的事項を身に付けさせるとともに、身近な事象や自分の考えについて、3～4文のまとまった英語で書く活動を継続的に行う必要がある。

【質問紙調査】

- ・学習面の調査から、小学校の算数と中学生の国語、英語に対する好感度と理解度については、全国や県と上回っており、今後も児童生徒の学習意欲を高めることを中心に授業改善を図る必要がある。
- ・朝食摂取や就寝、起床の習慣は、小中学生ともに全国や県より上回っている。また、「自分に良いところがあると思いますか」の項目が全国や県よりも上回っており、自己有用感が高いことがうかがえる。さらに、地域への行事の参加も全国や県よりも上回っており、地域への関心が高い。
- ・将来の夢に関しては、小学生の数値と比べると中学生は約2割程度ポイントが低い。今後とも、小中学校で連携して、キャリア教育を推進していく必要がある。
- ・学校質問紙調査では、小学校では学習規律の定着と、授業時の既習学習を生かし、課題解決を意識して授業に取り組んでいる様子が数値から受け取れる。